

平成29年度第9回 医療法人社団主体会倫理委員会 会議記録の概要	
開催日時	平成 30年 3月 19日 16時～16時30分
開催場所	小山田記念温泉病院 第3会議室
出席委員	毛受、森、北村、原、山中、伊藤、浅野、清水、坂(敬略称、順不同)
新規研究計画の審議	
申請者	水谷 智恵美
研究名	当院におけるフレイル透析患者に一年間の変化
研究内容 要旨	フレイルは、認知症や転倒・疾病による機能障害に陥って介護が必要になる直前段階と正常との中間の心身状態を示す疾病概念であり、病状進行や日常生活動作の低下、死亡率の増加にもつながる大きな社会問題である。 昨年、当院透析患者を対象とし、厚生労働省が提唱している基本チェックリストを用いてフレイル患者の把握を行った。今回、前回の評価から約一年後の評価結果を元に、フレイル患者の実態と特徴を後ろ向きに調査する。
審議結果	承認 2017-30
参考	「侵襲を伴わない研究であって介入を行わないもの」であり、「既存試料を用いて、集計・統計処理を行うもの」と考えられたので、書類審議を行い、その結果承認とした。
新規研究計画の審議	
申請者	伊藤 卓也
研究名	新型福祉車両の昇降、移乗性の運動学解析、ユーザビリティの調査
研究内容 要旨	既存車両と新型福祉車両のそれぞれで乗降動作をしていただき、その様子をモーションキャプチャで解析する。またまた各車両乗降後にユーザビリティの調査(質問紙を用いた使いやすさの感応テスト)を実施する。研究対象者の特性をとらえるため、心身機能評価(MMSE, Short Physical Performance Battery、基本チェックリスト、老研式活動能力指標、閉じこもり評価票、転倒不安感尺度、GDS5、握力、筋肉量、Time UP and Go、10m歩行)、自動車に関するアンケートを実施する。
審議結果	承認 2017-31
参考	本研究では共同研究機関である鈴鹿医療大学に試料、情報を提供する。鈴鹿医療科学大学では、既に倫理審査委員会の審査を受け、その実施について適当である旨の意見が得られている。
新規研究計画の審議	
申請者	FUSおよびSFPQの核内共局在についての認知症剖検脳を用いた検討
研究名	森 恵子
研究内容 要旨	アルツハイマー病、進行性核上性麻痺などの認知症および非神経疾患の対照症例の剖検脳のパラフィン包埋標本を用いて、ALS/FTLDの関連分子であるFUSとその結合因子SFPQについて免疫組織化学染色を行い、神経細胞核内における共局在の程度を評価する
審議結果	承認 2017-32
参考	本研究では、共同研究機関である名古屋大学医学部に試料、情報を提供する。ゲノム解析が行われることは想定していない。 名古屋大学医学部では、既に倫理審査委員会の審査を受け、その実施について適当である旨の意見が得られている。